



ふれあいネットワーク

— おおあみしらさと —

平成26年 1月
No.142

社協だより

ささえあう 福祉できずく まちづくり

発行

社会福祉法人
大網白里市社会福祉協議会
大網白里市大網 131-2
電話 72-1995 番
FAX 72-1996 番
E-mail: mail@oamishakyo.com
ホームページ: http://oamishakyo.com



白里小学校児童太巻き寿司作り体験

本年もよろしくお願ひします
福祉講演会開催



新年を 迎えて



大網白里市社会福祉協議会
会長 小川 公延

明けましておめでとうございます。
急速に進んでいる我国の少子高齢化社会は、今後ますます拍車がかかって来ると予想されます。

これに対応して国では、介護保険制度をはじめ様々な改革を進めています。

このような時代の変化のなか、市民の皆様が高齢になっても障がいがあっても安心して暮らしていける地域づくりを目指して、私も社会福祉協議会は、市行政と連携して活動を続けてまいります。

今年は、こすもすプラン／セカンドステップが2年目に入ります。計画された事業を着実に実践することによって、市民の皆様福祉に貢献できるよう役職員、支部共に力を合わせて努力いたします。

市民の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

ふれあいバス旅行

瑞穂 支部

11月8日(金)、好天に恵まれて40人が参加し、一日バスの旅に出かけました。

東大農学部にある東大地震研究所を見学しました。

重厚なレンガ建ての校舎が歴史あふれる学究の地を偲ばせています。

地道な研究に励

む説明に感銘し、大網白里市にも多数の地震感知装置が設置されていることを知ることができ安心しました。

見学を終えた後は、パシフィコ横浜にある日清食品の「カップヌードル博物館」を訪ねました。今では世界食となった即席ラーメンの歴史を見ることができました。

かわいいひよこの三角巾とエプロンを身につけ、二人一組となり、いざ、即席ラーメン作りに挑戦。

童心に返り一心に小麦粉をこね、完成した即席ラーメンを手にとると皆さんから笑みがこぼれていました。

自作のラーメンと市販品の即席ラーメンと三角巾をお土産に頂き大満足で帰途に着きました。



昔遊び交流事業

大網 支部

10月29日(木)と11月1日(金)に

大網小学校児童と昔遊びを通じた交流事業を行いました。

竹馬、けん玉、めんこ、おはじき等、

今では遊ぶことが少なくなってきた昔遊びの遊び方を教えたり、道具の作り方を教えたりしながら、一緒に遊び交流をしました。

大網支部では、福祉教育推進支部の指定を受けてから、大網地区にある学校と

相互の行事に参加協力するなどをして連携を図っています。

今後子どもたちの福祉教育の推進に努めていきたいと思っております。



地域交流会

山辺支部



10月22日(火)、房総平和園にて地域交流会が盛大に行われました。各支部社協や福祉作業所等から参加し、それぞれ選りすぐりの芸能を披露しました。

山辺支部は役員、出演者合わせて17名が参加し、「山辺芸能保存会」による「大網音頭」の舞踊を演じ、施設利用者に変喜されました。

支部では「障がい者福祉」を少しでも理解し、協力をしていきたいとの観点から、今後もこのような交流会への参加、施設訪問等を行っていきたくと考えています。

視察交流会

増穂支部



11月7日(木)、中部コミュニティセンターにおいて、袖ヶ浦市中川富岡地区社協と研修交流を行いました。

矢内会長をはじめ、総勢40名が来訪し、女性が多いのに驚かされました。

いきいきサロンやふれあいのつどい等に関する質問事項が事前に交換されましたので、質疑応答もスムーズに進み、時間が足りないと思われるほど熱のこもった研修会になりました。

お互いの良いところを取り入れて地域の福祉活動に役立てたいと思います。

太巻き寿し作り体験

白里支部

11月15日(金)、白里小学校4年生が地域の方々の指導のもと、太巻き寿し作りを体験学習しました。

この事業は、白里支部と食生活改善協議会、白里支部が協力し、伝統的な地域の食文化の伝承をすると同時に、児童に地域の人の交流の大切さとお年寄りの知恵を学んでもらおうと毎年行っています。

指導者の方が、見本の太巻き寿しを包丁で切ると、お花やかたつむりの模様がきれいに現れ、児童から歓声があがりました。

具の詰め方や巻き方のコツを教わりながら児童も挑戦し、見本と同じように作ることができ、大変喜んでいました。



ボラ連協
ニュース

救急手当・応急手当の知識と技術を学ぶ

11月26日（火）、保健文化センターで「第12回ボランティアのつどい」を開催しました。今回は山武郡市広域行政組合南消防署職員3名、救急講習普及員1名からAEDの使い方について学びました。

初めに救急車の適切な利用についての話があり、次に救急車が到着するまでの救命措置の重要性の話がありました。

心臓が止まってから4分以内に心臓マッサージを行わないと生存率は50%以下になってしまうので、心臓マッサージは出来るだけ早く行う必要があるとい

うことです。人が倒れているとこのを想定し、講師の方に「呼吸の確認」「助けを呼ぶ」「救急車とAEDの手配を頼む」「心臓マッサージ



※AEDとは

自動体外式除細動器。突然心臓が正常に拍動できなくなった心停止状態の心臓に対して、電気ショックを行い、心臓を正常なリズムに戻すための医療機器です。



ジを行う」そして最後に「AEDの使用」までを実演していただきました。

その後、総勢40名の参加者が4グループに分かれ、実際に心臓マッサージやAEDの使い方を実験しました。

皆さん一生懸命に心臓マッサージを行い、AEDの使い方戸惑いながらもすっかり学ぶことができました。

参加者から「実際に救急救命を行っている方から説明を聞くことができ良かった。」「何かあった時に役に立てるように自分の出来ることを考えていきたい」との感想が聞かれました。

福祉作業所ニュース

東京ソラマチ日帰り研修

保護者の方々との親睦を兼ねて、スカイツリーに向かいました。予定していた時刻よりも早く到着したので、集合写真の撮影をしてからショッピングをしました。

その後、楽しみにしていた「そらまち亭」で昼食。

福祉作業所は、そらまち亭のお箸入れをしているので「この箸入れているね」と盛り上がり、楽しく食事ができました。

帰りのバスの中では、「楽しかった」「たくさんお土産が買えた」と笑顔で話していました。

皆さんが時間が守り行動できたので、無事に研修を終えることができました。



ふれあい福祉大学を終えて

多くの市民のみなさんに地域福祉活動に携わっていただくための福祉基礎講座「ふれあい福祉大学」が、11月18日(月)をもって全ての講座を終えました。今年度は、15名の方が修了しました。

全12回の講座の中では、大学の教授による講義の他、市内にある福祉施設の見学、目の不自由な方のガイドヘルプ、車椅子の扱い方



等、色々な角度から福祉を学びました。

また、城西国際大学へ行き、大学生との合同授業でディスカッションを行う講義もありました。

受講生のみなさんは、すっかりうちとけ合い、講座最終日にはまさに学友といった感じでした。

今後受講生の方々には、この講座で学んだことを活かし、支部社協の活動や、地域のボランティア活動で活躍していただきたいと思います。

地域福祉の担い手養成講座

～千葉県コミュニティソーシャルワーカー育成研修～

11月28日(木)、千葉県社会福祉協議会主催の「平成25年度第4回千葉県コミュニティソーシャルワーカー育成研修」が、大網白里市農村環境改善センター(いずみの里)で行われ、各支部社協から総勢41名が参加しました。

この講座は、誰もが安心して暮らすことができる地域社会の実現のため、地域福祉の担い手を養成

することを目的としています。

8つのグループに分かれ、課題を抱える要援護者への個別支援や、ひとりひとりの地域生活を見守り支えるためのサービスの開発、関係者のサポートネットワークづくり等について話し合いました。

この成果を、これからの地域福祉活動に活かしていきたいと思えます。



お知らせコーナー ～コミュニティ～

福祉講演会開催

「やさしく楽しい健康づくり」

～ 日常生活の中の動きを工夫し、健康づくりをしましょう～

- **講師** 中島 一郎 氏
国際武道大学 体育学科教授・大学院研究科長
- **日時** 平成26年1月26日(日)
13時30分(開場13時00分)
- **会場** 大網白里市保健文化センター 3階ホール
- **入場料** 無料
- *手話通訳あり
みなさんお誘い合わせの上、是非ご来場ください。
- **申込み・問合せ** 社会福祉協議会 電話 (72)1995



子育てサロン ボランティア募集

～ 育てよう 明るいまちと 元気な子～

子育てサロンは、お母さんとお子さんが一緒に参加し、仲間づくりができるサロンとして実施しています。未就学児（概ね0歳児～3歳）のお子さんと遊んでいただいたり、お母さんとおしゃべりをしたりと一緒に楽しく過ごしていただける方を募集しています。お住まいの近くの子育てサロンでのお手伝いをお願いします。

サロン名	場 所	開催日時
ぴよぴよひろば	保健文化センター	毎月第2木曜日
ころころサロン	中部コミュニティセンター	毎月第3木曜日
くすくすひろば	農村環境改善センター「いずみの里」	毎月第3火曜日

※時間はいずれも午前10時00分～11時30分
※時期により開催日時を変更することがあります。

● **申込み・問合せ**
社会福祉協議会 電話 (72)1995

～仲間づくりと情報交換の場として、 気軽に楽しみながら交流しましょう～

- 日 時 平成26年2月23日（日）10時30分から12時30分まで
- 会 場 山武青い鳥工房〈大網白里市南横川1688-6〉
- 対 象 大網白里市内にお住いで障がいをお持ちの方
- 内 容 軽食・音楽・手品・ゲーム等(手話通訳あり)
- 参加費 無料
- 申 込 締切日／2月12日(水)まで ※事前に申込みが必要です
申込み・問合せ 社会福祉協議会 電話 (72)1995 FAX(72)1996



古切手・プルトップを集めてボランティア ～ 捨てればゴミ 集めれば資源 ～

ハガキや封筒についている使用済みの切手(古切手)、ジュースなどの空き缶についているプルトップ、皆さんはゴミとして捨てていませんか?

そんな古切手やプルトップが役に立つことがあります。

社会福祉協議会では、古切手やプルトップを回収し、リサイクルすることで、その収益を地域福祉活動に役立たせていただいております。

今までならゴミ箱に捨ててしまっていたものでも、今日からは捨てる前に“収集ボランティア”を考えてみて下さい。

《 古 切 手 》



- ← 消印がかかってしまう場合は消印を残す
- ← まわりを5mm～1cm残して切る



切手を
集めている方へ
消印を
集めている方へ



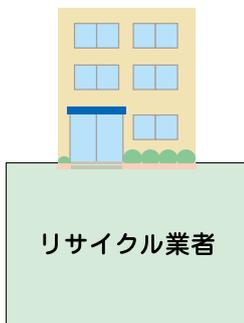
社会福祉協議会



《 プルトップ 》



アルミ缶のプルトップ
のみ取り出す



リサイクル
製品へ



社会福祉協議会



社協だより11月（第141号）記事の訂正とお詫びについて

瑞穂地区の敬老会は、台風の影響を考慮し、中止となりましたことをご報告すると共に記事に誤りがあったこととお詫び申し上げます。

外出支援サービスを 利用しませんか

単独歩行が困難で、介護認定、障害者手帳の交付を受けている方を対象に、福祉車両での外出支援を行っています。

詳細についてはお問合せください。

運転手は、移送車のリフト操作、運行のみですので、自宅内及び目的地でのサポートは介助者をお願いします。

☆登録料
3,000円
(介助者1,000円)

☆利用料
30分 500円

☆登録申請が必要です。

お問い合わせ ☎(72)1995



活躍する福祉車両「競輪号」

老人福祉センターからのお知らせ

【開館時間】

(日)～(土) 8:30～21:00

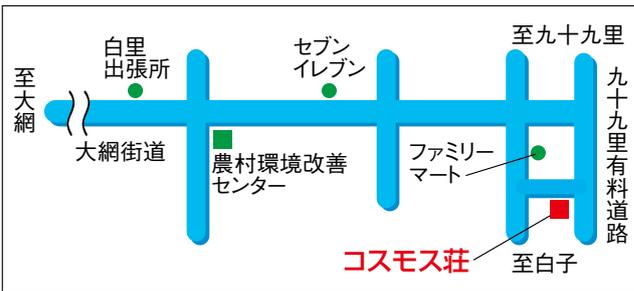
※祝祭日は休館です。

機械点検等のため、臨時休館する場合があります。

問い合わせ・申し込み

老人福祉センター ☎(77)4466

社会福祉協議会 ☎(72)1995



〈総合相談所窓口〉

○心配ごと相談…第2・第4 (月)
午後1時～4時(電話相談可)
主任相談員・一般相談員

○法律相談……………第1～第4 (水)
午後1時～4時 (予約制)
弁護士・主任相談員・一般相談員

○税務相談……………第2 (火)
午後1時～4時 (予約制)
税理士

○心の相談……………第2 (金)
午前9時～正午 (予約制)
臨床心理士

◇場所はいずれも福祉会館相談室です。
〈総合相談専用電話 70-1122〉

大網白里市社会福祉協議会は

土曜日も開館しています!

どうぞご利用下さい

【開館時間】(月)～(土) 9:00～17:00

福祉会館の2階「地域福祉センター」は、福祉団体や地域福祉活動をしている皆さんに広くご利用いただけます。

(約30名の会議などに利用可)



みんな場所を覚えてね!

法律相談を受ける方への お願い

- * 相談時間はおひとり20分程度です。
- * 相談内容をわかりやすく箇条書きなどにしてお待ちください。
- * 相談内容により必要書類などがあればお持ちください。